

2012年6月21日  
株式会社日立製作所

## 「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition メール・スケジュール機能版」を提供開始

日立クラウドソリューション Harmonious Cloud の SaaS メニュー  
「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition」のラインアップに追加

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」(ハーモニアスクラウド)の SaaS メニューのひとつで、事業継続性の強化と運用負担の軽減を両立するグループウェアサービス「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition」(グループマックス・コラボレーション・エディション)のラインアップに、メール機能群とスケジュール機能に特化して提供するサービス「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition メール・スケジュール機能版」を追加し、6月22日から利用申し込みの受付を開始します。

日立は、2010年3月に「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition」を発表し、メールやスケジュール管理、電子会議室、ファイル共有、コミュニティ管理などのグループウェアとしてのすべての機能を SaaS の形態で提供するサービスを開始しました。

今回、「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition」の機能の中から、メール機能群とスケジュール機能に特化した本サービスを提供<sup>(\*)</sup>します。

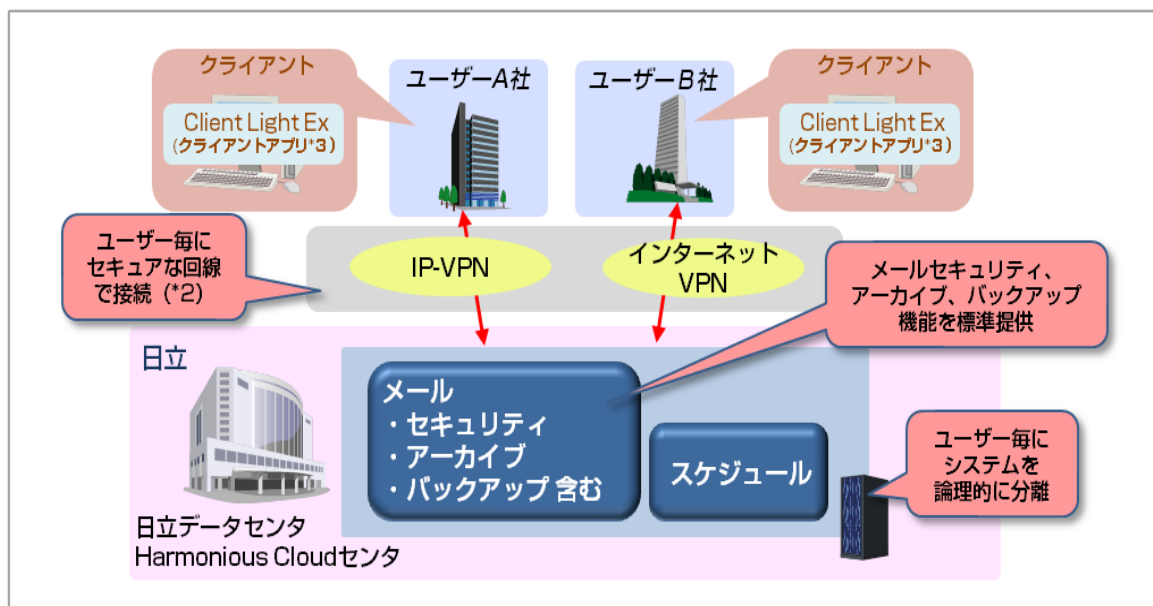
\*1 本サービスはエンドユーザーのPCに、クライアント用ソフトウェア「Groupmax Client Light Ex」(グループマックス・クライアント・ライト・イーエックス)をインストールする必要があります。「Groupmax Client Light Ex」のユーザーライセンスはサービス利用料に含まれます。

メールでは、企業で利用されるメールシステムに必要と考えられる機能として、ウイルスチェックやスパム対策、誤送信防止などのセキュリティ機能を提供します。また、メール保存期間1年以上から契約に応じて長期保管ストレージに保存できるメールアーカイブ機能を提供します。さらに、万一のサーバ障害の場合は、直近24時間以内に届いたメールが失われること(メールロスト)を回避するため、障害の直前から24時間前までに送受信したメールを復旧できる日立独自のメールバックアップ機能を提供します。これらのメール機能群のほか、個人だけでなく、企業内での組織の枠を超えたメンバーとの相互のスケジュールも容易に管理できるスケジュール機能を提供します。

なお、本サービスは、堅牢で高信頼な日立データセンタ内のクラウドサービス拠点(Harmonious Cloudセンタ)で運用されており、そこから、高セキュリティのネットワークを介してSaaSの形態で提供します。そのため、ユーザーは、高いセキュリティレベルを実現した安心・安全なメールシステムを利用することが可能です。

日立は、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」のラインアップの一つである本サービスを拡販していくほか、今後も日立グループ内で培ったノウハウや実績をもとに SaaS の形態で提供するさまざまなサービスのラインアップを拡充していきます。

## ■「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition メール・スケジュール機能版」のサービスイメージ(概要図)



\*2 回線はユーザーで準備(費用負担)が必要となります。

\*3 利用するクライアントPCへの「Groupmax Client Light Ex」のインストールが必要となります。

## ■「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition メール・スケジュール機能版」の価格と提供時期

名称	内容 <sup>(*4)</sup>	価格(月額) <sup>(*5)</sup>	提供時期
情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition メール・スケジュール機能版	<ul style="list-style-type: none"> <li>メール (セキュリティ、アーカイブ、バックアップ機能を含む)</li> <li>スケジュール</li> </ul>	1 ユーザーID あたり 630 円～ (税抜: 1 ユーザーID あたり 600 円～)	9月28日

\*4:対象となるシステム規模は、1,000～4,000ユーザーID。

\*5:4,000ユーザーID規模の場合での1ユーザーライセンスあたりの価格。

## ■「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/serv03a.html>

## ■コラボレーションポータル「Groupmax」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/groupmax/>

■日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■Hitachi Innovation Forum 2012での紹介について

日立は、2012年7月19日(木)～20日(金)に東京国際フォーラムで開催するHitachi Innovation Forum 2012において、「情報共有基盤サービス Groupmax Collaboration Edition メール・スケジュール機能版」を紹介します。

<http://iforum.hitachi.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 ITサービス事業部

IT基盤サービス部 [担当:真野、鈴木、井上]

お問い合わせフォーム:<http://www.hitachi.co.jp/os-inq/>

以上

【添付別紙】

## ■本サービスについて

### 1.企業用メールサービスに必要と考えられる機能を標準で提供

ウイルスチェックやスパム対策、誤送信防止などのメールセキュリティの基本機能、メール保存期間1年以上から契約に応じて長期保管ストレージに保存できるメールアーカイブ機能を標準で提供しています。また、一般的なメールサービスでは夜間バッチでの一括バックアップ方式が多く、直近24時間以内に届いたメールが失われること(メールロスト)もありました。本サービスでは、最近届いたメールこそ重要であるという視点から、万一のサーバ障害の場合は、障害の直前から24時間前までに送受信したメールを復旧できる日立独自のメールバックアップ機能を提供します。

さらに、企業用スケジュールとして多くの実績を持つ「Groupmax」のスケジュール機能をバンドルしており、個人のスケジュール管理や企業内での組織の枠を超えたメンバーとの相互のスケジュール管理を容易に行うことができます。このため、例えば、企業内での部署を超えたプロジェクトメンバー同士のスケジュールを一画面に並べて表示して共通の予定を入力したり、スケジュール予約と同時に、メール作成画面からメンバーに向けて会議の開催通知を出すことができます。

本サービスのユーザー情報、組織情報は、企業内のLDAP(ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや環境に関する情報を管理)とバッチ処理で連携することが可能です。LDAPのデータを日立所定の様式に変換し、データセンタに転送することにより、ユーザー情報、組織情報がシステムに反映され既存資産を活用することができます。

### 2.日立自らがユーザーの立場で意見を出したサービスであるため、そのまま使え導入期間を短縮

本サービスは、日立グループ内で自らがユーザーとして意見を出して改善してきた製品を活用しています。このため、契約から導入、運用開始まで、最短5週間という短期間での利用開始が可能です。

### 3.国内の日立データセンタ利用により高セキュリティ、高信頼な環境を実現

本サービスは、日立グループの総力を結集して構築し、運用している国内の日立データセンタ内に設置したクラウドサービス拠点(Harmonious Cloudセンタ)から提供します。データセンタの設備からIT機器まで多くの日立グループ製品を利用し、また、24時間365日、統合管制センタで有人監視を行っているため、万一の時にも迅速に対応でき、高セキュリティ、高信頼な環境を実現します。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---